

ジョリパット  
JQ-200シリーズ  
アートクリフ仕上げ  
施工の手引き

平成21年11月作成

アイカ工業株式会社  
化成製品カンパニー 技術部  
建設樹脂グループ

### <使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約514㎡/缶 (水希釈50%の場合)
主 材	JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200T ( ...数字) 特注色 JQ-200 ( ...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約11㎡/缶
骨 材	JF-1 JF-5	寒水石 (白竜) 1厘 寒水石 (白竜) 5厘	(20kg 袋入 (20kg 袋入	約32㎡ 約32㎡)

### <主な施工道具>

- ・ リシガン                    口径    4～6mm
- ・ タイルガン                口径            8mm
- ・ スチロールゴテ (スタイロフォームのような発泡スチロールでも可)
- ・ 仕上げゴテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)
- ・ コンプレッサー    3馬力(2.2kW)以上 (1台使用の場合)

### <下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

## <アートクリフ仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500※	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地に最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下吹き

配 合	JQ-200シ-ズ	20kg
	清 水	2~3ℓ
塗 布 量	0.6kg/m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
施工道具	リシンガン	口径 4~6mm

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 上吹き

配 合	JQ-200シ-ズ	20kg
	寒水石 1厘	10kg
	寒水石 5厘	10kg
	清 水	2~3ℓ
塗 布 量	約2.5kg/m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
施工道具	タイルガン	口径 8mm
	タイルガンにて粒状に詰めて吹く。	

#### 追いかけ (5分以内)

### 4. パターン付け

- ・ スチロールゴテを横方向に動かし、部分的に寒水石が転がった跡をつける。(図-1)

#### 追いかけ (5分以内)

### 5. 押さえ (仕上げ)

- ・ 仕上げゴテにて、表面が平滑になるよう押さえる。この時、コテムラが残らないようしっかり押さえる。(図-2)

## <施工のポイント>

- ・ スチロールゴテを横方向に動かし、寒水石の5厘が少し転がるよう、部分的にパターンをつける（図-1）。  
（塗布量が多いと骨材が転がりにくい。）
- ・ スチロールゴテの裏面全体を壁面に押し付けながら、寒水石5厘を転がす。
- ・ スチロールゴテの裏面は、ブラシや濡れウエスなどで常に、きれいに保つこと。（汚いと寒水石が転がりにくくなり、パターンが出にくくなります。）
- ・ 寒水石5厘が5cm程度、転がるようにパターン付けする。一回で寒水石が転がらない場合は、何回も横方向にスチロールゴテを動かし、寒水石を転がす。

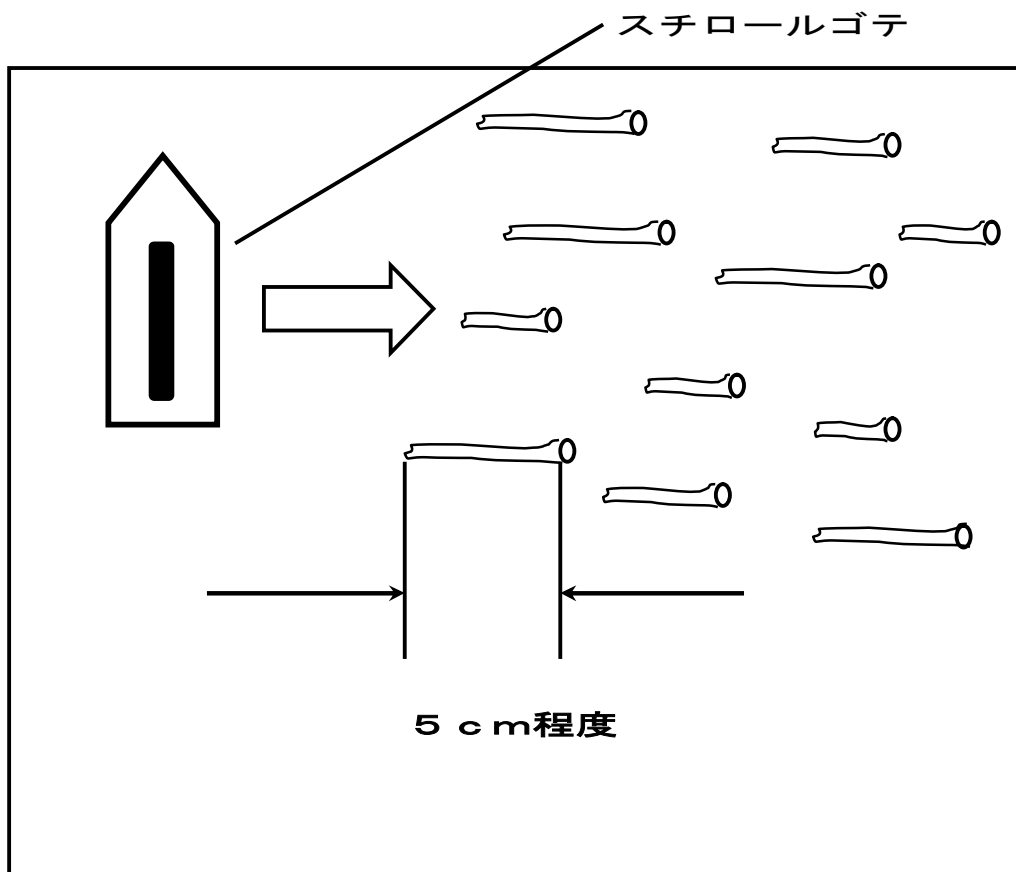


図 - 1

- ・ ジョリパットの表面を仕上げゴテで平滑になるよう横方向に押さえる。(図-2)。

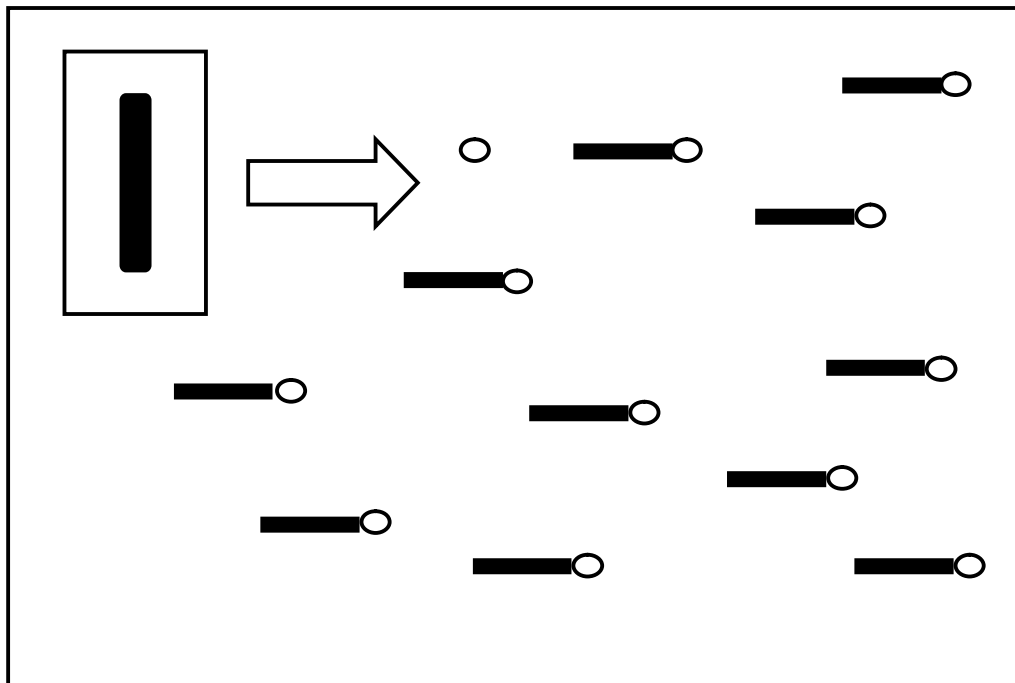


図 - 2

※主材を吹き付けた後、スチロールゴテを使用しなくても、仕上げゴテを横方向に動かすことでパターン付けが出来ます。主材上吹き塗りの塗布量が多くなりすぎないように塗布した後、コテの裏面全体を壁に強く押し当て(コテのエッジを使わない)、横方向に何度もコテを動かし、骨材の転がった跡を付けます。この施工方法は、パターン付けのコツが必要である為、必ず練習し、見本板と同様な仕上がりになることを確認した後、本体施工にとりかかって下さい。

### <施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

- ・シーラー、ジョリパットの施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため事前に近隣への案内等に配慮ください。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用してください。
- ・コテ、ローラー、吹きつけ等の洗浄水を河川、側溝への施法は避けてください。

以 上